

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

大妻女子大学（以下「本学」という。）は、下記のとおり、平成31年度から収容定員変更を行う。

なお、本件は、大学の収容定員の総数の増加、また、東京都の特別区に所在する大学（本学では千代田キャンパス（東京都千代田区）が該当）の収容定員の総数の増加を伴わないものである。

【現行】

学部・学科・専攻			入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	
千代田 キャンパス	家政学部	被服学科	110	10	460	
		食物学科	食物学専攻	80	—	320
			管理栄養士専攻	50	—	200
		児童学科	児童学専攻	50	—	200
			児童教育専攻	60	5	250
	ライフデザイン学科	120	10	500		
	文学部	日本文学科	120	10	500	
		英文学科	120	10	500	
		コミュニケーション文化学科	120	10	500	
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	10	420
環境情報学専攻			100	10	420	
情報デザイン専攻			100	10	420	
比較文化学部	比較文化学科	165	15	690		
計			1,295	100	5,380	
多摩 キャンパス	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	75	10	320
			社会・臨床心理学専攻	75	10	320
	人間福祉学科	100	10	420		
計			250	30	1,060	
合計			1,545	130	6,440	



【平成31年度から】

学部・学科・専攻			入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	現行からの 増減	
千代田 キャンパス	家政学部	被服学科	110	7	454	△6	
		食物学科	食物学専攻	80	—	320	0
			管理栄養士専攻	50	—	200	0
		児童学科	児童学専攻	80	—	320	120
			児童教育専攻	50	5	210	△40
	ライフデザイン学科	120	7	494	△6		
	文学部	日本文学科	120	7	494	△6	
		英語英文学科（英文学科から名称変更）	120	7	494	△6	
		コミュニケーション文化学科	120	7	494	△6	
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	5	410	△10
環境情報学専攻			100	5	410	△10	
情報デザイン専攻			100	5	410	△10	
比較文化学部	比較文化学科	165	5	670	△20		
計			1,315	60	5,380	0	
多摩 キャンパス	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	75	10	320	0
			社会・臨床心理学専攻	75	10	320	0
	人間福祉学科	100	10	420	0		
計			250	30	1,060	0	
合計			1,565	90	6,440	0	

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学家政学部児童学科（昭和43年度開設）は、「発達・臨床心理学」「教育・保育学」「子どもと文化」「児童福祉」の4つの領域を柱としたカリキュラムについて学び、子どもへの総合的な理解を深める学科である。保育士資格、幼稚園教諭1種免許状を取得できる児童学専攻と、幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状を取得できる児童教育専攻の2専攻で構成されており、保育士資格の課程としては昭和44年度から、教育職員免許状の課程としては昭和45年度から、およそ50年の長きにわたり、社会に貢献し、活躍できる保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の育成・輩出に努めている。

さて、入学定員増加を行う児童学専攻においては、過去5年間、資料1「入学志願状況等」のとおり志願者数が入学定員を大きく上回っており、平均志願倍率は10.34と高水準となっている。

また、国は、平成25年4月に「待機児童解消加速化プラン」を策定し、その確実な実施のため、平成27年1月には「保育士確保プラン」を策定して保育士に対する就業継続支援、働く職場の環境改善、処遇改善等に、平成29年6月には「子育て安心プラン」を策定して女性就業率80%に対応できる32万人分の保育の受け皿整備等に、それぞれ取り組んでおり、これまで以上に保育士の需要が高まることが期待される。

以上のことから、保育士資格、幼稚園教諭1種免許状を取得でき、保育士、保育教諭を供給できる児童学専攻に対する社会の期待は小さくなく、それに応えるため、上記のとおり児童学専攻の入学定員増加を行うこととした。

入学定員削減を行う児童教育専攻においては、過去5年間、資料1「入学志願状況等」のとおり志願者数が入学定員を上回っており、平均志願倍率は6.50とけっして低い数字ではないが、児童学専攻と比べると低調である。志願者の第1希望が反映される専願制の入試では、資料2「専願制入試における入学志願状況」のとおり、児童学専攻の平均志願倍率8.27に対して児童教育専攻のそれは3.36と半分以下となっており、この傾向は顕著である。

また、統計としては示すことはできないが、オープンキャンパス等における児童学科への来場者では、児童学専攻を第1希望にあげる者が多いこと、保育士資格を取得できない児童教育専攻を卒業後、個人的に保育士試験を受験している者が少なからずいることから、難しい児童学専攻への入学を諦め、あるいは不合格となって、児童教育専攻に入学する者が一定程度存在しているのが実態である。

さらに、平成30年文部科学省告示第25号をもって、国が、東京都の特別区に所在する大学の収容定員の総数の増加を認めないこととしており、他学科・専攻の入学定員削減を行わず、児童学専攻の入学定員増加だけを行えば、収容定員の総数の増加となり、認められないこととなる。

以上のことから、児童教育専攻の入学定員削減を行い、その削減分を児童学専攻の入学定員増加に充当することとした。加えて、児童学専攻の入学定員増加30人を、全て児童教育専攻の入学定員削減で充当するのではなく、資料3「編入学志願状況等」のとおり定員充足が低調で、全国的な短期大学の学生数の減少等に伴って今後それに拍車がかかることが予想される編入学定員について、その削減を行い、それを合算した形で児童学専攻の入学定員増加に充当することとした。

なお、児童教育専攻では、「学校教育法等の一部を改正する法律（平成27年法律第46号）」の施行により義務教育学校の制度が創設され、これを契機として全国的に小中一貫教育の取り組みが一層進むことが予想されること、小学校において平成23年度から外国語活動が導入、さらに、平成32年度には教科としての外国語が完全導入されることに鑑み、取得できる免許状とし

て幼稚園教諭1種免許状を外し、平成32年度入学生からの適用を目途に中学校教諭2種免許状（英語）を加えることを予定している。このことにより、児童教育専攻では、幼保連携型認定こども園と義務教育学校の創設という2つの流れの中で、取得できる免許状は幼稚園教諭1種免許状と小学校教諭1種免許状であるという、どっちつかずの状況を打開し、義務教育教員の育成に特化して受験生に向けてその特徴をはっきりと示し、学生確保につなげたいと考えている。加えて、入学定員削減により、当初から学生に目が行き届く教育を行うことができ、質の高い義務教育教員の輩出につながることを期待するものである。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

本学では、学士課程教育の質的変換に向けて、さまざまな施策に取り組んでいる。教育課程では、「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」を明確化し、そのもとで、専門教育科目について平成27年度までに開設科目の精選を行い、体系化を行ったところである。また、グローバル化の進展に伴い、本学の英語学習の環境を整備し、英語教育をより充実・強化するため、平成29年度に英語教育研究所を設置し、効率的な学びを可能にする習熟度別クラス編成、各英語検定試験の受験サポート、英語学習相談のためのオフィスアワーの設置などの取り組みを行っている。さらに、児童学科の取り組みでは、プレイルームや面接室並びに観察室を備えた児童臨床研究センターを平成4年度に設置し、子どもに関する臨床研究を行って、その研究成果を授業に活かしている。今後も以上の取り組みを継続して行うことにしており、収容定員変更前と同等以上の内容を担保することができると思う。

また、児童学科では、文部科学省初等中等教育局教職員課が所管する平成31年度の教職課程再課程認定に伴う教育課程の見直しを行っており、このことも、収容定員変更前と同等以上の内容を担保するに資するものとする。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

〈教育方法〉

学士課程における社会的・職業的自立が求められている時代背景に即して、実社会のニーズであるコミュニケーション能力や主体性などの基礎的能力の育成を図る必要があることから、演習科目や体験型授業を積極的に取り入れている。そして、それらの成果の一例として、課題解決型授業「キャリア・ディベロップメント・プログラム」では、企業や地方自治体と連携したプログラムを実践し、高い評価を得ている。

また、新入生対象の必修科目として「大妻教養講座」を開講し、建学の精神、大学生生活の過ごし方等を解説し、学習の動機付けを行っている。

〈履修指導方法〉

ガイダンス、オフィスアワー、クラス担任・副担任制を活用してきめ細やかな履修指導・学習指導を行っている。

また、授業の予習・復習、自学自習の学習成果を高めるため、学習支援システム「manaba」を活用し、授業担当者と学生が自由に双方向のインターネットを利用した学びができる環境を提供している。

今回の収容定員変更に合わせて教育方法、履修指導方法を変更するといったことは行わないが、以上の取り組みを継続して行うことにしており、収容定員変更前と同等以上の内容を担保

することができると思う。

また、入学定員増加を行う児童学専攻では、1学年1学級50人から2学級各40人へと、1学級当たりの学生数を削減することにしており、学習支援体制の維持・向上に資するものとする。

(3) 教員組織の変更内容

今回の収容定員変更を行った場合の、大学設置基準に定める「学部の種類及び規模に応じ定める専任教員数」、「大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数」については、現在の専任教員数のままで済む基準を上回っている。

また、入学定員増加を行う児童学専攻では、「指定保育士養成施設指定基準」及び「教職課程認定基準」の両方を十分に満たすよう専任教員を3人増員することとしている。

なお、FD活動や教員評価制度を通じて各教員の意識・能力を高め、また、ティーチング・アシスタント等を積極的に活用するなどの取り組みを継続して行うこととしており、教育の質の維持・向上に資するものとする。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

千代田キャンパスでは再開発プロジェクトが完了し、平成25年のE棟を皮切りに、平成26年にF棟とJ棟、さらには、平成28年に講義室、ゼミ室のほか情報処理実習室・自習室、研究室等を備えた地上8階、地下2階のH棟、平成29年度に2つのアリーナ、学生のためのアクティブラーニングスペース、講義室、ゼミ室等を備えた地上7階、地下2階のG棟が完成した。先進的な設備を備えた講義室、ゼミ室、実習室等が数多く配置され、学習環境が格段に改善されている。

今回の収容定員変更を行っても十分な施設・設備を備えている。

資料1

入学志願状況等

学部等名	項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
家政学部 児童学科 児童学専攻	入学定員	50	50	50	50	50
	志願者数	505	534	587	517	444
	受験者数	492	516	557	490	418
	合格者数	77	88	81	87	91
	入学者数	51	54	50	52	54
	志願倍率	10.10	10.68	11.74	10.34	8.88
	入学定員超過率	1.02	1.08	1.00	1.04	1.08
児童教育専攻	入学定員	50	50	50	50	60
	志願者数	330	445	376	252	268
	受験者数	314	426	363	237	256
	合格者数	111	129	99	94	130
	入学者数	63	61	59	61	67
	志願倍率	6.60	8.90	7.52	5.04	4.46
	入学定員超過率	1.26	1.22	1.18	1.22	1.11

資料2

専願制入試における入学志願状況

学部等名	入試名	項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
家政学部 児童学科 児童学専攻	アドミッション・オフィス入試	募集人員	10	10	7	7	7
		志願者数	99	82	72	73	69
		志願倍率	9.90	8.20	10.28	10.42	9.85
	公募推薦入試	募集人員	4	4	4	4	4
		志願者数	40	18	44	33	24
		志願倍率	10.00	4.50	11.00	8.25	6.00
	同窓生子女推薦入試	募集人員	2	2	2	2	2
		志願者数	5	2	8	7	8
		志願倍率	2.50	1.00	4.00	3.50	4.00
	計	募集人員	16	16	13	13	13
		志願者数	144	102	124	113	101
		志願倍率	9.00	6.37	9.53	8.69	7.76
児童教育専攻	アドミッション・オフィス入試	募集人員	7	7	7	7	7
		志願者数	37	17	44	26	22
		志願倍率	5.28	2.42	6.28	3.71	3.14
	公募推薦入試	募集人員	4	4	4	4	4
		志願者数	9	11	21	11	4
		志願倍率	2.25	2.75	5.25	2.75	1.00
	同窓生子女推薦入試	募集人員	2	2	2	2	2
		志願者数	1	0	8	4	4
		志願倍率	0.50	0.00	4.00	2.00	2.00
	計	募集人員	13	13	13	13	13
		志願者数	47	28	73	41	30
		志願倍率	3.61	2.15	5.61	3.15	2.30

※公募制に限る

※アドミッション・オフィス入試においては、志願者数＝申込者数

資料3

編入学志願状況等

学部等名	項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
家政学部 被服学科	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	2	5	5	4	4
	受験合格者数	2	5	4	4	4
	編入学者数	1	2	2	2	1
	志願倍率	0.20	0.50	0.50	0.40	0.40
	編入学定員超過率	0.10	0.20	0.20	0.20	0.10
ライフデザイン学科	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	17	30	15	29	27
	受験合格者数	16	30	15	28	27
	編入学者数	10	10	10	10	10
	志願倍率	1.70	3.00	1.50	2.90	2.70
	編入学定員超過率	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00
文学部 日本文学科	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	22	11	9	12	6
	受験合格者数	21	11	9	12	6
	編入学者数	12	9	6	10	3
	志願倍率	2.20	1.10	0.90	1.20	0.60
	編入学定員超過率	1.10	0.90	0.30	0.90	0.30
英文学科	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	24	21	16	14	13
	受験合格者数	22	21	16	13	13
	編入学者数	12	13	11	11	12
	志願倍率	2.40	2.10	1.60	1.40	1.30
	編入学定員超過率	1.20	1.10	0.90	1.00	0.80
コミュニケーション文化学科	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	14	14	14	14	14
	受験合格者数	14	13	14	14	13
	編入学者数	10	11	11	11	11
	志願倍率	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
	編入学定員超過率	1.00	1.00	1.00	1.10	0.60
社会情報学部 社会情報学科 社会生活情報学専攻	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	2	9	2	5	12
	受験合格者数	2	8	2	5	12
	編入学者数	2	7	2	4	9
	志願倍率	0.20	0.90	0.20	0.50	1.20
	編入学定員超過率	0.10	0.50	0.10	0.20	0.70
社会情報学科 環境情報学専攻	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	2	4	3	3	3
	受験合格者数	2	3	3	3	3
	編入学者数	2	3	3	3	3
	志願倍率	0.20	0.40	0.30	0.30	0.30
	編入学定員超過率	0.00	0.20	0.10	0.20	0.20
社会情報学科 情報デザイン専攻	編入学定員数	10	10	10	10	10
	志願者数	0	1	0	3	4
	受験合格者数	0	1	0	3	4
	編入学者数	0	1	0	3	2
	志願倍率	0.00	0.10	0.00	0.30	0.40
	編入学定員超過率	0.00	0.10	0.00	0.30	0.20
比較文化学部 比較文化学科	編入学定員数	15	15	15	15	15
	志願者数	11	10	10	11	9
	受験合格者数	11	10	9	11	8
	編入学者数	8	10	8	4	7
	志願倍率	0.73	0.66	0.66	0.73	0.60
	編入学定員超過率	0.33	0.26	0.26	0.20	0.46
全体	編入学定員数	95	95	95	95	95
	志願者数	94	105	74	95	92
	受験合格者数	90	102	72	93	90
	編入学者数	57	66	53	58	58
	志願倍率	0.98	1.10	0.77	1.00	0.96
	編入学定員超過率	0.51	0.56	0.42	0.54	0.48

※ 入学定員削減を行う児童教育専攻を除く千代田キャンパスの学科・専攻